

新小山小学校が開設されました

4月16日(木)、小山小学校の新設を祝う会が、井崎市長はじめ多くの来賓の方をお迎えして開かれました。子ども達の朗読、呼びかけ、全校合唱、校歌斉唱が、真新しいアリーナに響き渡りました。後田校長先生の挨拶にあった「長く・賢く・大切に」という思いは、子どもたちにしっかり届いたようです。



プラスバンドカーニバル

春爛漫の4月5日、おたかの森駅南口都市広場で、スプリングフェスタ2009のクライマックス、プラスバンドカーニバルが開かれました。

参加した八木北小学校は、「崖の上のポニョ」「シングシングシング」などを、南部中学校は「ディズニークラシックレビュー」や、野田南部中学校とのジョイントで「コパカパーナ」や「ふるさと」などを演奏し、観客の喝采を浴びていました。



南部中学校の演奏とパフォーマンス



熱演する八木北小学校児童

グリーンサンタ基金からの贈り物

ヒノキの机といす46セットが、グリーンサンタ基金(子どもたちに森林や自然を大切にする心を育てることを目的に創設された)から東深井小学校に贈られました。これは、同校のピオトープ活動とホテルの飼育、及びそれを軸にした地域との交流活動が評価されたものです。

机といすを置いた教室は木の香りでいっぱいです。現在は児童会の会議などに使っていますが、これからは様々な行事にも使用する予定だそうです。



夏休みの思い出作り

夏休みの楽しいイベントをいくつかご紹介します。

- 〈能登自然体験学習ツアー〉
魚釣り、川遊び、星空の観察など自然の中でのいろいろな体験をしてみましょう。
・期間 7月27日(月)~30日(木)
・対象 市内在住の4~6年生
・申込・問合せ 流山市教育委員会指導課 7150-6105

- 〈夏休み流山サイエンスフェスティバル〉
たくさんの実験を体験してみよう。
①8月20日(木)10:00~12:00 定員30名
— 葛谷信治先生のおもしろ化学教室
②8月22日(土)10:00~12:00 定員30名
— 高石哲男先生の命の不思議・生物教室
③8月23日(日)10:00~16:00 定員300名
— いろいろな実験がいっぱい
・①、②は事前予約制 ③は事前予約不要
・無料
・場所・申込・問合せ 生涯学習センター 7150-7474

よのなか塾

「あなたも私も環境応援団」
～スポーツアナウンサーから環境ボランティアへ～
アントニオ猪木とアリの試合を実況中継した元アナウンサーが、環境応援団への人生を語ります。
講師 エコです環境応援団副理事長 元テレビ朝日アナウンサー 舟橋 慶一
日時 平成21年7月5日(日) 10:00~11:30
参加費 500円
場所 生涯学習センター 7150-7474
申込 流山市教育委員会教育研究企画室 7150-8388
生涯学習センター 7150-7474

教育トピックス

子どもたちの安全を守る



PTA旗振り講習会 流山北小学校



子ども防犯教室 八木北小学校

流山市では、児童生徒の安全を地域ぐるみで守るための取り組みが行われています。いくつかをご紹介します。



新川小学校集団登校地域のボランティアの方と



交通安全教室 西深井小学校

教育広報

真まごころ心

題字 鈴木 昭夫

第45号
編集発行 流山市教育委員会
TEL 04(7158)1111

人とのかかわりあい

教育長 鈴木 昭夫



今年度早々、新型インフルエンザの件で対応に迫われましたが、おおよその姿が見えて平静を取り戻した感があります。しかし、誰もが経験せぬことへの対応は意見が百出する状況もあり、手間どりますが、引き続き油断のない対応がすべてに求められています。それにしても現代医学をもってしても困難な事態が起きるものです。医学に限らず、経済のことも、環境のこともにおいても、誰もがしあわせに生きていけるために「一人ひとりが責任をもって行動する力」と「未知なる課題に立ち向かってわたりあっている力」ある人材が求められます。

今、学期の半ばを迎えており、教科のみならず、数々の体験活動がくりひろげられています。5月には5つの小学校で運動会が実施されました。いずれの学校も夏休みから耐震改修工事が行われるため一学期に実施することとなりました。どの学校の児童も僅かな練習期間でしたが、当日は大変盛り上がり、立派な演技や態度でした。加えて地域の特色が感じられました。子どもと職員、保護者や地域が力を合わせて取り組んでいる結果だと思います。感謝です。

流山の全ての学校が「歓声の湧き上がる学校」「自分の学校に誇りをもてる学校」にしたいと願っています。その中で、個々の持ち味を生かすことと、かつ新しい課題に果敢にとりくんでいく力をつけることが他人への、社会への貢献につながると思っています。

一方、小中学生の育つ環境はネットの問題をはじめ、心をすりへらす課題の多い環境です。学校がとりくむべきは、教科の学習と共に、人と人同士のかかわりあいの学習に力を注いでいますが、子供のみならず、大人の社会も、時には家族にあっても「孤独」の状況が報告されます。人は誰しも、ものの豊かさよりも人とのかかわりの豊かさに喜び、そしてしあわせを感じるものなのでしょう。各種の事件が、それを証明しています。

流山市の小中学校では「学級経営」に力を入れています。それは「他人との豊かなかかわりあい」をめざしてのことです。ご家庭や地域における活動もまさに「かかわりあい」づくりですね。協働のとりくみを今年度もどうかよろしくご依頼申し上げます。

文部科学大臣表彰

北部中学校が、昨年度の八木南小学校に続き今年度の読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰されました。「子どもの読書活動推進フォーラム」(4月23日)において、実践発表校(受賞中学校25校から1校)にも選ばれました。北部中学校では、「読書1万ページの旅に出よう」をテーマに、学習委員会中心に「万里の長書」(「万里の長城」を一段一段登り、広大な景観が開けていくように、読書を1頁1頁重ねることによって、心の世界が開かれていく)という活動を行っています。一言感想と共に、読んだ頁数をファイルに記録する、多読を目指す掲示物を作る、などが具体的な取り組みです。毎朝の全校朝読書の時間はもちろん、家庭でも積極的に読書をするよう委員会と国語科で呼びかけています。

また、廊下に「テーマ文庫」(国語や総合的な学習の時間で学習している内容に沿った本)を設置し、地域の図書館と連携して書籍を集め、身近な場所に置いています。さらに国語科授業では、「本の紹介カード」作りや「ブックトーク」「グループ朗読」を行う、教師が毎週発行する「国語教室通信」「今週の本棚」において中学生に薦めたい多様なジャンルの本を紹介する、地域人材を活用し、古典への興味付けと

して地域に伝わる民話の読み聞かせを聞いたり、図書館整備に協力いただいたりする、など実践しています。

活動当初は、読む冊数が少なかっただけでなく、ジャンルに偏りがありました。活動後1年たった今、「呼びかけなくてもクラス全員が集中して読むようになった」「読書が義務でなく自然な習慣(生活の一部)になり、家でも読むようになった」「楽しくもって読みたいという気持ちになっている」「本のジャンルが広がり、今まで読まなかった本に挑戦している」「“おやつ読書”ばかりだったので、“主食読書”をするようになった」「次の本を本屋で探すようになった」「図書館に足を運ぶことが増えた」「1万ページ達成者をもっと増やしていきたい」などの感想を持っています。

今回の受賞によって生徒達はこの活動の意義を再確認し、今後さらに活動を継続していくことに意欲的です。



北部中学校 学習委員会のメンバー

北部中学校が受賞

ひと声かけよう！「おはよう、ありがとう、すみません」のとびかう ながれやま